

1.17被災地交流会 *in* 西宮

1月17日(日)午前中、西宮市役所東館8階大ホールにて、「1.17被災地交流会in西宮」を開催しました。第1部では、2007年中越沖地震の被災地の新潟県刈羽村、2011年東日本大震災の被災地の岩手県野田村、1995年阪神・淡路大震災の被災地の西宮、それぞれの関係者から地元の現状についてお話していただきました。第2部では、3地域の特産品を紹介していただきながら参加者同士で交流しました。阪神・淡路大震災から21年を迎えたその日に、一堂に集まることの意義は大きいと改めてそう思いました。(事務局)



- c o n t e n t s -

- P 1 1.17被災地交流会in西宮
- P 2 V I S I O N 1 1 7
- P 3 K S N プロジェクト / 福島訪問
- P 4 防災ふれあいウォーク / 佐用町訪問
- P 5 愛犬との防災を考える / マップコンクール表彰式 / 4団体連携防災訓練
- P 6 チャリティカレンダー市 / 津門地区防災マップ作成会 / 浜脇地区防災マップ作成会
- P 7 イザ! 美かえる大キャラバン / Nうごき / Nごよみ
- P 8 会員・寄付者・募金者のみなさま / 寄付金募集 / 編集後記

VISION 117

阪神・淡路大震災から21年が経ちました。NVNADでは、毎年、中越地震・中越沖地震の被災地や、東日本大震災の被災地から、皆さまをお招きして、朝5時46分を一緒に過ごして頂いています。午後は、西宮で被災された方々との交流を深めて頂いています。今年は、お招きできる方々の数が、様々な事情から少なくなりましたが、遠く新潟県刈羽村と岩手県野田村から数名の方々にお越し頂くことができました。また、野田村からは、子どもたちもお招きすることができました。昨年は、震災20年という年でしたが、今年は21年。20年経ったのだから、1つの区切りだと考える方々がいらっしゃる一方で、何年経とうとあの日は忘れられないと考える方々もいらっしゃるだろうと思われました。実際、今年は、1月17日に追悼と交流の場を持つことについて、KOBE各地で色々な議論があったと聞きました。もちろん、被災した私たちも、あの日から過ごしてきた時間に思いを馳せ、「区切り」を考えない訳ではありません。しかし、私たちの思いと一緒に感じて下さる全国の被災者の皆さま、そして、私たちをご支援くださる会員の皆さまの思いを大切に受け止めさせていただく意味でも、NVNADでは、震災何年ということに関わらず、これからもずっと全国の被災地の皆さまとの交流を続けていきたいと思えます。その一環として、震災21年の今年も、私たちの活動の原点であります1月17日を皆さまとお過ごしさせていただくことができました。



もちろん、あの日からの想いは、何も1月17日だけに振り返るのではありません。これから、あの日のことを片時も忘れず、全国の被災地で過ごされている方々に思いを馳せ、一日一日を大切に活動していきたいと考えています。22年目も思いを込めた活動を模索して参ります。引き続き、どうぞよろしくお願い申し上げます。

野田村から被災地のリレー

阪神・淡路大震災から東日本大震災まで、災害ボランティアの活動を振り返ってみますと、あるパターンに気づきます。KOBEから新潟を支援する。すると、数年後、今度は、新潟から東日本の被災地を支援される。また、KOBEから県内の水害被災地を支援する。すると、数年後、今度はそこから、近畿圏内の別の水害被災地に支援が行われる。このように被災地間でリレーのように次々と支援が行われることを「被災地のリレー」と呼んできました。

先日、岩手県野田村にあります大阪大学野田村サテライトで、阪神・淡路大震災、佐用町水害、そして、東日本大震災をきっかけに作られた曲を演奏し、皆で歌う機会がありました。その場に参加してくれた野田中学校吹奏楽部の生徒さんから、思わぬプレゼントを頂きました。昨年関東で発生した大水害で苦しむ人々に向けて、演奏会の時に募金活動をして下さったそうです。その募金を、NVNADの水害支援活動に託して下さいました。

野田村の中学生は、小学校の時に津波に遭いました。募金を渡してくれた生徒さんの一人も家を流され、仮設に住んでいるとのことでした。でも、大変な場面で支援活動に参加した私たちを見てくれていました。そして、今度は、関東の水害に向けて何かしたいと思ってくれたのです。見事な「被災地のリレー」です。中学生たちの熱い想いに、胸がつまります。

募金して下さいました皆さま、集めてくれた中学生、そして、中学生をご指導くださった先生にこの場を借りて深く感謝の気持ちをお伝えしたいと思います。そして、NVNADでは、皆さまの温かい想いを水害被災地にしっかりと届けていこうと思います。ありがとうございました。

(理事長 渥美 公秀)

KSNプロジェクト



12月17日(木)18:00から関学会館にて、恒例のKSN(関西学院大学、西宮市社会福祉協議会、NVNADの3者が主体)主催のクリスマス会を開催しました。今回も関西学院大学社会学部の関ゼミ生を中心にプログラムを企画していただきました。西宮に県外避難されている親子連れが今年もたくさん参加して下さいました。立食パーティ形式で、プログラムは唄ありゲームあり、また、途中にサンタさんも登場し、子どもたち全員にプレゼントを配ってくれました。参加された方々には、楽しいひと時を過ごしていただけたのではないのでしょうか。来年3月で東日本大震災から5年が経過します。避難されている方1人ひとりの事情は違うとは思いますが、これからもKSNとして少しでも寄り添った活動が出来ればと考えています。1年間色々とお世話になりありがとうございました。(事務局)

福島訪問



昨年12月4、5日の2日間、郡山市のハートネットふくしまさんを訪問し、活動に参加させていただきました。12月4日は、毎月西宮からお菓子を送らせていただいている富田町若宮前仮設住宅・富岡町集会所の定例お茶会を手伝いました。みぞれまじりの寒さの中、予想以上の方にご参加いただくことができました。その半数以上が、既に仮設住宅から復興住宅へ移られている方でした。お話によると、新しい復興住宅は、まだコミュニティづくりが進んでおらず、お茶会の場は設けられているものの、やはり、顔なじみの人が集う仮設住宅のお茶会の方に参加したいとの思いがあり、離れた復興住宅から足を運んでおられるとのことでした。

中には、車を運転できる人に連れてきてもらっている方もいらっしゃいました。お茶会に参加し特に印象的だったのは、92歳のおじいちゃん。2つ年上の奥様、94歳のおばあちゃんを仮設住宅で介護しておられます。数十分かけて、歩いて買い物に行かれるとおっしゃっていました。滞在時間は短かったですが、おじいちゃんにとって、茶話会が休憩の場所、安らぐ場所になっているのではないかと感じました。その他にも多くの方々にとって、ハートネットふくしまさんが4年以上にわたり続けておられるお茶会が、大切な拠り所になっていることを改めて感じました。

翌5日は、富田団地の復興住宅の炊き出しに同行させていただきました。昨秋に入居したばかりの復興住宅とのことですが、外で人の姿を見ることが殆どない状態でした。この復興住宅には、富岡町の住民が入っておられるそうですが、仮設住宅のみでなく、借上げ住宅から移ってこられた方もいらっしゃり、顔見知りでない方も多そうです。ようやく仮設住宅でのコミュニティが出来たところに、また新たなコミュニティづくりが必要な状態は、特に高齢者の方々にとっては大変なことです。仮設住宅での炊き出しでは、知っている人に声をかけたり、出てこられない方の分を届ける姿が見受けられますが、この復興住宅では、そのような様子はなく、出てこられた方も、残念ながらまだ僅かでした。



仮設住宅から復興住宅へと移り始め、一見復興が進んでいるように映るかもしれませんが、実際はもっと複雑で深刻な課題を抱えていることを目の当たりにしました。

今後も福島の方を少しでも長くお手伝いすることができればと考えています。
(事務局)

防災ふれあいウォーク

11月15日（日）、13時から武庫川女子大学とその周辺地域において、「防災ふれあいウォーク」を開催しました。今回で3回目の開催となり、今年も武庫川女子大学の文学部 心理・社会福祉学科 心理学コース2年生の防災班の皆さんに企画段階から運営まで関わっていただきました。9月から授業の中で、「進行係」「チェックポイント係」「記録広報係」に分かれて、参加者募集のチラシとポスターの作製や、ウォークラリーのチェックポイントの場所の設定や内容、あるいは、総合スタジアムと栄養科学館でのプログラムや進行などについて、約2か月間一緒に準備作業を行っていきました。

当日はなんとかお天気も回復し、朝9時30分に大学の正門に全員集合し、総合スタジアムと栄養科学館とに分かれてそれぞれ準備作業を行いました。12時30分から鳴尾浜にある総合スタジアムで参加者の受付を行いました。第1部は、津波災害のお話と防災クイズを実施しました。防災クイズでは学生さんたちから問題の出題を行っていただきました。第2部では、株式会社プロフェッショナルトレーナーズチーム（PTT）の坂口氏より、座ったまま高齢者の方でも出来るやさしい準備体操をご指導いただきました。



そして、いよいよ第3部では、ウォークラリーの開催。14時前に7つのグループが総合スタジアム

を出発し、まずスタッフと「あっち向いてホイ!」をやって300円をもらった後、5つのチェックポイントを通過してゴールの栄養科学館を目指していただきました。この300円は、途中のコンビニやスーパーなどで、災害時に役に立つものを各グループで相談して買ってきていただくという課題を出しました。チェックポイントでは、ポイントスタッフから防災クイズ問題や体操などの指令が出され、参加者にチャレンジしていただきました。

15時頃から各グループがぞくぞくと栄養科学館にゴールし、江崎グリコやキュービー、カゴメやアルファ食品など、今年も各企業・団体の皆様に協賛いただき、災害食の展示コーナーを設営し、到着した順番に展示コーナーをまわってもらい、各担当者から災害食の説明や試食などを行っていただきました。その後、PTTの坂口氏から「防災と健康」についてミニレクチャーをしていただき、最後に主催者から今年9月に発生した茨城県常総市の鬼怒川の氾濫や、津波避難ビルなどの説明を行い、17時前に無事終了しました。参加いただきました皆様、各協賛企業・団体の皆様、PTTの皆様、当日ご協力下さったボランティアの皆様、そして、防災班と武庫川女子大学の関係者の皆様に、心よりお礼申し上げます。（事務局）



15時頃から各グループがぞくぞくと栄養科学館にゴールし、江崎グリコやキュービー、カゴメやアルファ食品など、今年も各企業・団体の皆様に協賛いただき、災害食の展示コーナーを設営し、到着した順番に展示コーナーをまわってもらい、各担当者から災害食の説明や試食などを行っていただきました。その後、PTTの坂口氏から「防災と健康」についてミニレクチャーをしていただき、最後に主催者から今年9月に発生した茨城県常総市の鬼怒川の氾濫や、津波避難ビルなどの説明を行い、17時前に無事終了しました。参加いただきました皆様、各協賛企業・団体の皆様、PTTの皆様、当日ご協力下さったボランティアの皆様、そして、防災班と武庫川女子大学の関係者の皆様に、心よりお礼申し上げます。（事務局）

15時頃から各グループがぞくぞくと栄養科学館にゴールし、江崎グリコやキュービー、カゴメやアルファ食品など、今年も各企業・団体の皆様に協賛いただき、災害食の展示コーナーを設営し、到着した順番に展示コーナーをまわってもらい、各担当者から災害食の説明や試食などを行っていただきました。その後、PTTの坂口氏から「防災と健康」についてミニレクチャーをしていただき、最後に主催者から今年9月に発生した茨城県常総市の鬼怒川の氾濫や、津波避難ビルなどの説明を行い、17時前に無事終了しました。参加いただきました皆様、各協賛企業・団体の皆様、PTTの皆様、当日ご協力下さったボランティアの皆様、そして、防災班と武庫川女子大学の関係者の皆様に、心よりお礼申し上げます。（事務局）

佐用町訪問



12月20日（日）、日帰りで佐用町久崎を訪問しました。今回は『久崎市』という地元のお祭りが開催され、チャコネット（佐用町学生支援ネットワーク）のメンバーは、いつものコミュニティカフェをフーズくろださんのところをお借りして出店させていただきました。この日は朝からお天気も良く、とてもあたたかい1日で、ステージを中心に、周囲にはうどんやたこ焼き、焼きそばやラーメン、あるいは、野菜の販売などたくさんの屋台が立ち並び、大勢の人で賑わっていました。

今回チャコネットの学生メンバーは、コミュニティカフェ以外にも、ステージの司会を担当させていただいたり、佐用町のマスコットキャラクターのきぐるみ（おさよん、しかのすけ、ビスラくん）に入らせていただいたり、甲冑を着させていただいたり、大役も務めさせていただきました。このようなお祭りを通じて、地元の皆さんと交流させていただけるのが、とてもありがたいなと思います。佐用町久崎の皆様、いつもあたたかくチャコネットのメンバーを迎え入れて下さり本当にありがとうございます。これからもどうぞよろしく願いいたします。（事務局）



「愛犬との防災を考える」

12月10日(木)に「愛犬との防災を考える」というイベントを阪急ハロードッグ西宮阪急店において開催しました。近年、ペットを飼う人が増加している一方で、東日本大震災では被災地に残された動物や、ペットが避難所で引き起こすトラブルが問題となりました。こうした悲しい事例をできるだけ減らすため、日ごろからどのような準備が必要なのか考えました。



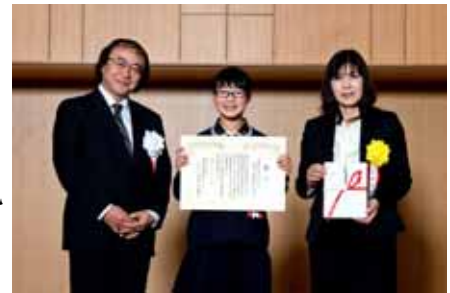
第1部は、兵庫県動物愛護センターによる講演です。福島県での事例も交えて、災害時に備えた平常時のしつけや準備の必要性についてお話がありました。第2部は、阪急ハロードッグのドッグトレーナーによるトレーニングです。あいにくの天候でドッグランを使うことはできませんでしたが、騒音やゲージに慣れるためのトレーニングを行いました。第3部では、犬の非常持ち出し袋に何を準備すればいいのか、グループで検討しました。

我々の団体にとってペットを扱う企画は初めてでしたが、阪急ハロードッグさんや兵庫県動物愛護センターさんにご協力いただき、無事に開催することができました。ゴールデンレトリバーからチワワまで大小さまざまな12頭の犬たちが飼い主さんと共に参加してくれました。定員を上回る応募があり、遠方からの参加もあり、企画をした我々としてはうれしいかぎりです。参加者からは、他の犬と仲良くするにはどうすればよいかなどの質問が多くなされ、また、このような催しを継続して開催してほしいといった声も聞かれ、飼い主さんの関心の高さが感じられました。このような防災と別の分野とを結びつける企画をまた進めていきたいと思います。(事務局)



第12回ぼうさい探検隊マップコンクール表彰式

今年も「ぼうさい探検隊マップコンクール」の表彰式が開催されました(1月23日 東京恵比寿のあいおいニッセイ同和損保・センチュリーホールにて)。主催団体の1つとなっておりますNVNADでは、まちが大好きで、最も工夫を凝らしているマップに注目し、毎年「わがまち再発見賞」を授与しています。今年、香川県三豊市仁尾町児童館の「仁尾地域安全マップ」にお渡ししました。このマップを作ってくれた子どもたちは、防災に関わる場所を探検する際に、まちの掃除をしながらまわっていくという工夫をしてくれました。もともと「ぼうさい探検隊」とは言うけれど、防災に限定しなくていいと言ってきましたが、まちの清掃作業を思いついてくれたのは、とてもいいアイデアだと思いました。防災を通じて、まちが大好きになっていく、まさにこのコンクールの目指すところ。香川県三豊市仁尾町児童館の皆さん、おめでとう!(理事長 渥美 公秀)



4 団体 連携 防災 訓練

11月7日(土)、西宮市総合福祉センターにて、4団体(西宮市、西宮市社会福祉協議会、西宮市国際交流協会、NVNAD)連携防災訓練を実施しました。午前中は、西宮市国際交流協会が主体となり外国人のサポーター研修会を開催し、昼間は食のワークショップということで、NPO法人インターナショナルの講師から外国人が食べられない食について色々と学びました。その後、アルファ化米を昼食にいただき、午後は西宮市の担当者のご指導で避難所運営ゲーム(HUG)を体験しました。HUGでは、色々と課題点も浮かび上がりましたが、運営側としてもこれからの参考にさせていただければと思います。ご参加下さった多くの皆様に、心よりお礼申し上げます。

(事務局)



第20回 チャリティ カレンダー市



1月8日（金）～10日（日）の3日間、西宮市役所東館8階大ホールにて、恒例の『チャリティカレンダー市』を開催しました。1997年1月に開催して以来、今回で20回目となりました。今年はマイナンバーの関係でお借りできた部屋数が少なく、企業からのカレンダーの受入数を制限させていただきました。

とはいえ7日と8日のカレンダー受入日には朝からたくさんの段ボールが会場に届き、ボランティアの皆さんに段ボールを開封してカレンダーの分類作業に取り掛かっていただきました。

8日の開催初日には、朝10時のオープンにもかかわらず、9時頃にはすでに廊下には長い行列ができていました。毎年昼までにはこの長い行列は解消されるのですが、今回は13時頃まで列が途切れることがなく、例年以上にたくさんの方がお越し下さったように思います。翌9日と翌々10日はちょうど西宮神社の「えべっさん」の開催と重なったこともあり、例年であれば午後と比較的空いている時間帯が多いのですが、今年は午後になっても来場者が途切れることがありませんでした。また、10日にはさくらFMの生中継がありました。

今回も「毎年楽しみにしています」と神戸や三田など、地元西宮以外からもわざわざお越しいただいた方もたくさんいました。20年間開催するのは色々と苦労もあり大変でしたが、続けてきて良かったなと思います。それもこれも、毎年ご協力くださる大勢のボランティアの皆さんのお蔭だと感謝しています。3日間の売上は1,600,400円（募金は23,817円）となりました。この売上は、東日本大震災(2011年)をはじめ、佐用町水害(2009年)、丹波市土砂災害(2014年)、常総市水害(2015年)、および、今後発生する災害支援活動に有効に活用させていただきたいと思っております。皆様、ご協力本当にありがとうございます。（事務局）



津門地区防災マップ作成会 (検証会)



平成27年12月18日（金）西宮市津門の大箇市民館集会室に於いて、津門地区防災マップ作成のための防災マップ検証会が開催されました。

当日は、津門地区自主防災会の方々が出席され、NVNADも参加させていただきました。津門地区で最も危惧される「津波災害」を想定災害（テーマ）に、津門地区防災マップの作成に取り組んでいますが、前回の「検証会」で挙げられた追加したい情報や削除したい情報について、最終の確認作業を行いました。（事務局）

浜脇地区防災マップ作成会 (検証会)



平成28年1月26日（火）西宮市浜脇公民館に於いて、浜脇地区防災マップ作成のための防災マップ検証会が開催されました。

当日は、浜脇自主防災協議会の方々などが出席され、NVNADも参加させていただきました。浜脇地区で最も危惧される「津波災害」を想定災害（テーマ）に、浜脇地区防災マップの作成に取り組んでいますが、前回の「検証会」で挙げられた追加したい情報や削除したい情報について、最終の確認作業を行いました。（事務局）

「イザ！美かえる大キャラバン！2016」



1月31日(日)、神戸市のJICA関西において、毎年恒例となりましたNPO法人プラス・アーツ主催の「イザ！美かえる大キャラバン！2016」が開催され、NVNADも参加し、ボランティアさんと一緒に、兵庫県佐用町特産品の竹炭を使った竹炭石けんづくり体験を実施させていただきました。13時から16時頃まで、子どもから大人まで実にたくさんの方がお越し下さり、みなさんとも熱心に竹炭石けんづくりに挑戦して下さいました。中には、海外からJICA日本に研修に来られている外国人グループの参加もあり、世代や国を問わず様々な方に、この竹炭石けんづくりを通じてNVNADの活動や佐用町水害の被災地の様子をPRすることができた大変有意義な機会となりました。
(事務局)



Nうごき

NVNADの活動をお知らせするコーナーです。

- | | | |
|-----|-------|------------------------------|
| 11月 | 21日 | 災害ボランティア養成講座(大阪府泉南郡岬町) |
| | 28日 | 第1回災害ボランティアコーディネーター養成講座(伊勢市) |
| | 28日 | 連合大阪「災害時リーダー研修会」(大阪市) |
| 12月 | 7日 | 災害ボランティア養成講座(大阪府枚方市) |
| | 9日 | 第12回小学生防災探検隊マップコンクール審査会(東京) |
| | 10日 | ペットと防災を考える講座(西宮市) |
| | 12日 | 第4回子ども防災クラブ(西宮市) |
| | 17日 | 災害ボランティアコーディネーター養成講座(大阪府柏原市) |
| | 18日 | 津門地区「防災マップ検証会」(西宮市) |
| | 19日 | 第2回災害ボランティアコーディネーター養成講座(伊勢市) |
| | 20日 | 「久崎市」に参加(佐用町) |
| 1月 | 8~10日 | 第20回チャリティカレンダー市(西宮市) |
| | 14日 | ひょうご市民活動協議会「ひょうごん」賀詞交歓会(神戸市) |
| | 17日 | 1.17行事「被災者交流会in西宮」(西宮市) |
| | 23日 | 第12回小学生防災探検隊マップコンクール表彰式(東京) |
| | 27日 | 丹波市立春日部小学校防災授業(兵庫県) |
| | 30日 | 第5回子ども防災クラブ(西宮市) |
| | 31日 | 「イザ！美かえる大キャラバン！2016」に参加(神戸市) |
| 2月 | 17日 | ニュースNo.106発行 |

Nごよみ

今後の予定・講演などのスケジュール

- | | | |
|----|---------|----------------------|
| 2月 | 20日 | KSN学習会(西宮市) |
| | 20日~21日 | 佐用町訪問(兵庫県) |
| | 23日 | 丹波市前山地区活動報告会(兵庫県) |
| | 23日 | 野田村ファンクラブのつどい(大阪市) |
| | 27日 | 泉南郡熊取町社会福祉協議会講演(大阪府) |
| 3月 | 5日 | 親子でわがまち探検隊(西宮市) |
| | 5日 | 第6回子ども防災クラブ(西宮市) |
| | 10日~14日 | 野田村ボランティアバス(岩手県) |
| | 19日~20日 | 佐用町訪問(兵庫県) |
| 4月 | 3日 | 佐用町桜まつり(兵庫県) |
| 5月 | 17日 | ニュースNo.107発行 |



～会員・寄付者・募金者のみなさま～

■継続会員のみなさま (2015年11月1日～2016年1月31日)

個人正会員：「継続」 奥田 和子、平木 祐治、定藤 美雪、片岡 春樹

個人賛助会員：「継続」 田中 恵子、山本 東志夫

■寄付者のみなさま (2015年11月1日～2016年1月31日)

「一般」 近畿ろうきんNPO寄付システム契約者の皆様、戸口 京子、
深山 操江、渥美研究室、檜崎 正名、定藤 美雪

■募金者のみなさま (2015年11月1日～2016年1月31日)

「東日本大震災」 松崎 恵子、グッドス ナカヤマ ヨシ、大江 良一、
カレンダー市にご来場の皆様

「関東・東北豪雨災害」 大里 恵子、魚島 侑子、忽那 須美男、田中、稔昭、山田 昌志、
平田 真彦、大阪府立大学工業高等専門学校校友会、
野田村立野田中学校吹奏楽部、太田 博

■ご協力いただいたみなさま

株式会社高山堂

(順不同、敬称略)

ご支援、ご協力ありがとうございました。

尚、振込み頂いた方につきましては、振込名でご紹介させていただきましたのでご了承下さい。

寄付金募集!!

当団体は、災害救援支援活動や防災まちづくり活動、ネットワーク活動、災害
についての講演、講座、セミナーなどの活動を行っております。皆様から頂いた
寄付金は、この活動を継続していくために役立ててまいります。ぜひともご支援・
ご協力いただきますようお願い申し上げます。

尚、当団体は、認定NPO法人ですので、いただいた寄付金は、税制優遇を受
けることができます。(事務局)

(振込銀行)

三井住友銀行西宮支店 普通 NO.7833406

名義 特定非営利活動法人 日本災害救援ボランティアネットワーク

編集後記

今年の冬は暖冬かと思いきや、1月下旬には強烈な寒波が西日本にやってきました。2月から3月にかけても寒暖の差が激しいことが予想されています。このような年は、春先の太平洋側は大雪に警戒が必要です。(H. T)

認定特定非営利活動法人 日本災害救援ボランティアネットワーク〔NVNAD〕

〒662-0854 兵庫県西宮市櫛塚町2番20号 西宮商工会館南館 TEL0798(34)9011 FAX0798(34)9022

http://www.nvnad.or.jp/ 発行人：渥美公秀 編集人：伴美代子